

## 【選手案内】

## 木曾三川トライアスロン大会

- ☆ 東海ブロック大会  
日本トライアスロン選手権(2018東京港)東海ブロック代表選考大会
- ☆ 2018木曾三川トライアスロン大会(エイジ)
- ☆ 2018長良川アクアスロン大会

主催 木曾三川トライアスロン大会実行委員会

主管 岐阜県トライアスロン連合

後援 国営木曾三川公園管理センター;海津市;JTU東海ブロック連絡協議会  
(予定含) 愛知県

開催日:日程

平成30年 6月 3日(日)				
駐車場オープン		6:00	～	
受付(東海ブロック大会、一般)		7:00	～	8:30
受付、荷物セット(アクアスロン)		8:00	～	10:00
バイク試走			～	8:20
トランジションオープン		7:10	～	8:30
スイムアップ(ブロック、エイジ)		8:00	～	8:20
開会式:競技説明会		8:30	～	
スイムアップ ブロック選手権		8:45	～	8:55
ブロック予選;入水チェック		8:55	～	
東海ブロック予選スタート男子		9:00	～	
〃 女子		9:03	～	
木曾三川トライアスロン大会				
スイムアップ		9:50	～	10:10
スタート集合:スタート地点	キヤップ	10:00		
入水チェック:エイジトライアスロン全員	色	10:10	～	
第1スタート 女子 121～153	赤	10:25		
第2スタート 201～363:39才以下	青	10:26		
第3スタート 401～530:49才以下	白	10:29		
第4スタート 601～693:50才以上	黄	10:31		
アクアスロンスタート地点集合		11:05	～	
アクアスロンA、Bスタート	緑:白	11:20	～	
表彰式(東海ブロック大会)		11:50	～予定	
アクアスロン大会		12:30	～予定	アクアスロン
一般13:20～を予定年代別は確定次第順次行います。				

- \* 気象条件、国営公園利用規則等その他の事由、大会実行委員会の判断により、大会の中止、縮小、競技種目や距離の変更がされる場合があります。
- \* 大会進行状況により、タイムスケジュールが変更される場合があります。  
場内放送にてご案内いたします。一部施設内におきましても聞き取れない場所があります。

競技場所 岐阜県海津市 国営木曾三川公園内 ”アクアフィールド トライアスロンコース”  
(駐車場は、展望タワー南から、長良川の河川敷、上流約2km付近)  
応援者は、長良川サービスセンターから、河川敷コースへおこしください。

表彰 東海ブロック選手権 男女各1位～3位

トライアスロン(一般) 総合 男女各1位～3位  
年代別 男女各1位

アクアスロンA、B  
男女各1位～3位

入賞者には、表彰状が授与されます。  
表彰式は、入賞者確定後、表彰式の準備が整い次第ご案内します。  
入賞者は、レース後場内放送にご注意ください。

**競技規則** 本大会競技規則は日本トライアスロン連合（JTU）競技規則（エイジグループ）、大会ローカルルールが適用されます。大会競技ルールの確認、最終判断の説明は、競技説明会にて行います。選手は必ず出席ください。

### 東海ブロック予選会 特記事項(会場案内、共通事項は、エイジと同じ。)

ドラフティング許可レース。ただし、異性間のドラフティングは禁止。周回遅れは、ペースの早い選手に積極的に進路を譲ること、周回遅れとされた選手へドラフティングをしない、として競技を続けることができる。違反者はDNFとなり、その場で競技を中止する。バイクのハンドルバーとブレーキについては、エリートドラフティング許可レースでの項目を適用する。バイクセットは金属パイプ型(約高さ1m)。第1トランジションでは、レースNo.の貼ってある側をハンドル側にして、サドル掛け。第2トランジションは、同じ場所にハンドル2点、ブレーキレバー2点、または、サドル掛け、前後の向きは指定なし。用具は、指定された用具入れに入れる。バイクシューズは、バイクに取り付けていても良い。バイクから外れたバイクシューズは、用具入れに入れる。ヘルメット、サングラス、グローブ等の用具は、容易に落ちないように、バイクにセットできるが、第2トランジションでは、用具入れに入れる。後で使用するランシューズは、用具入れまたは付近にそろえて置いてよい。バイク、用具は、まとめてください。散乱、投げ捨て、他者への迷惑もペナルティの対象となります。バイクは、1周5kmのコースを右回りに、8周回します。サイクルメーターを取り付け推奨。ホイールストップをテニスコートの北側付近 川側に設置。大会側での予備ホイールは準備しません。8:00～8:30の間に、ホイールストップ場所にホイールをセット願います。ネームプレート準備願います。バイク競技中は、常に前方に注意して、ブレーキのかけられる状態で走行。DHポジションは危険です。乗降車 ベナルティ 乗車ラインを越え、片足が完全についてのちに乗車。降車ラインの手前で、降車後片足が完全についていること。違反者は、その場でコールなくペナルティとなる場合があります。全カテゴリーにおいて、ペナルティボックスをランススタート付近に設置します。ペナルティを受けるのは、選手側の判断です。ペナルティボックスの前に表示板を設置し選手のレースNo.を表示します。ペナルティボックスに入ったら、審判員にNo.を告げペナルティを受けてください。受けない場合は失格です。その他 水温22度以上で、ウエットスーツ着用禁止。気温による補正は無し。

### 共通項目：競技上の注意（エイジ：アクアスロン）

**※注意** 競技用ウェアについて:エイジ  
前空き前ファスナー付きウェア、上下セパレートのウェアの着用には規定が設けられています。  
会場内では必ず閉めてください。開けている場合は、閉めて頂くよう、声をかけさせていただきます。ご了承ください。  
JTU競技規則を確認ください。 <http://www.jtu.or.jp/news/2013/130125-1.html> JTUのホームページ参照  
会場は、気候により予想以上の変動があります。暑さ寒さの対策を十分に準備願います。

#### 注意事項

一般:アクアスロン

施設利用 当日、車は必ず指定の（河川敷）駐車場にとめてください。閉門時間を事前に確認下さい。鎖にて施錠します。

#### 駐車場

**岐阜県海津市**の木曾三川公園展望タワーより河川敷に降り、河川敷道路を上流へ。約1.5km  
他の駐車場を利用されますと大会に支障があります。また、大会選手用の駐車場でない場合は、大会終了まで出れない場所もあります。前日コースの下見はできますが、公園内は一般開放されています。

#### 建物施設

サービスセンター3階を選手、同伴者の控室とします。休憩はこちらで行ってください。  
荷物は3階以外の場所に置かないようお願いいたします。荷物、貴重品は自己管理です。  
監視員等は配置いたしません。不要に大きな場所取りや、荷物の紛失等ご注意ください。  
大会時以外の遊泳は禁止です。

#### コース

国営公園内を使用しておりますので、一般の使用者にご配慮いただき、ご利用ください。  
男女別更衣室、コインロッカー、（100円使用：返却式）シャワールームがサービスセンター3階に設置されております、人数分には不足しますが、譲り合いご利用ください。  
陸上コースは舗装されておりますが、荒れているところもあり、砂利や砂が浮いていたり窪み等あり、注意が必要です。  
競技中以外でもバイク乗車時はヘルメット着用ストラップをきちんと締めてください。  
コース内を応援者、一般者が横断、通行する場合があります。接触到注意ください。  
また、常に前方に注意し、不測の事態に備えてください。

#### 体調管理

バイクを会場に配達される方は、実行委員会までご連絡ください。  
大会前には、医師の診断を受け、完走するのに余裕のある体力を有することをご確認ください。レースは、長時間かつ過大な運動量を必要とされます。  
大会前日の飲酒、夜更かしは控え、食事、水分を十分に摂りゆっくり休んでください。  
大会当日は、適度な朝食をとり水分補給、捕食の準備を願います。  
河川敷特有の天候になる場合があります。異常な暑さ、寒さ、風雨等に対応できる準備をお願いします。  
体調が少しでも不安を感じる場合は棄権して、次回のレースに参加するようにお勧めします。

#### バイク試走

近年無理をして死亡するスポーツ事故が多くなっています。棄権は勇気ある未来につながる判断です。  
選手権、エイジのバイク試走は、前日又は当日の8:20までお願いいたします。  
周回ポイントや、合流、分岐、折り返しと事前に必ず確認の試走をしてください。  
トランジションからバイクコースには入れません。一度出たら川側からこ、コースに入ってください。

#### 受付

受付時にレースNo.、氏名を申告ください。受付場所はレースNo.で区分されています。  
事前に受付付近に掲示しますので、ご自分のNo.を確認の上お並びください。

#### 用具の検査

事前検査は行いません、各自にて十分に点検、整備、検査し、JTU規則に適合したものを使用ください。

#### 配布物 マーキング

レースNo.1枚バイクシール1枚(サドル右下側)、記念品、スイムキャップ、ご自分のNo.を確認ください。  
ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。  
太字油性マジックにて、数字縦書き、上腕。(両側)または、手の甲

#### レースNo.(大)1枚

安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下がらず、見苦しく無い位置。  
バイク時＝背面、ラン時＝前面。前面を優先します。

#### バイクシール

サドルの下、右側面に走行中にはがれないように貼り付けてください。バイクピックアップ時にも、No.確認します。

記録	<p>計測は、電子計測、スイムフィニッシュ、ランスタート兼用、総合フィニッシュの2か所。計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、スイムスタート15分前より、スイムスタート付近にてお渡しします、レースNoを確認し、どちらかの足首にしっかりと取り付けてください。(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると正確な記録が測定できなく完走されても”棄権”となります。ご注意ください。</p> <p>記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。</p> <p>レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。</p> <p>各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。</p> <p>体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。</p> <p>大会会場は広範囲に及び、主催者側だけの安全管理では予測のできない状況もあります。</p> <p>自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。</p> <p>調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終えられるようご協力ください。</p> <p>又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。</p> <p>リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。</p> <p>リタイアする場合でもコースの内外ともに逆走は禁止です、コース外の芝生内を移動。歩いてください。(周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。)</p> <p>大会運営上や選手の体調による、ドクターやスタッフの判断により、棄権とする場合があります。</p> <p>大会スタッフからの棄権の指示に、すみやかに従い競技を中止ください。</p> <p>棄権後も、レースNoゼッケン、バイクシールは必要です。破棄、紛失しないでください。</p>
リタイア	
緊急時の心得 スイム バイク:ラン 救護	<p>競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。</p> <p>近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。</p> <p>体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。</p> <p>医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じ対応できるよう待機しています。</p> <p>会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、周囲のスタッフまたは選手に依頼ください。バイクの回収や選手の送迎については、レース状況を見ながら、終了後となる場合もあります。</p> <p>重大な事故に関しましては救急搬送いたします、健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。</p> <p>緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。ご協力をお願いします。</p> <p>緊急時は選手間の追いつき禁止。競技中、体調の悪い選手へは、スタッフから棄権の指示を与えます。</p> <p>コース 周回数、コースミスは自己責任です。失格となる場合があります。競技説明会には必ず出席ください。</p> <p>コースから逸脱した場合は、元の場所より復帰ください。できれば、近くのスタッフの確認を申請願います。スタート前に、必ず自信でコースの確認をお願いします。</p> <p>周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。</p> <p>スタッフが周回数やコースを競技中に教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。</p> <p>コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。</p> <p>コースは一人での閉鎖されたコースではありません。前方や路面状況に注意して安全に走行してください。</p> <p>特に、スイムの上り口のコンクリート坂路、バイクのカーブ、合流、サンドコート横の舗装面上に吹き上がった砂、ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断、前方選手の急な進路変更、プレーキングなど十分注意し不測の事態に備えてください。自分は良くても、前方者、横の選手が倒れる場合もあります。</p> <p>コース設定が河川敷のため、特性上みずはけが悪く水たまりができる箇所も何か所があります。</p> <p>ヘッドセット等の使用は禁止します。他からの音声が確認できないため、規則として禁止。</p>
コース	
スイム	
トランジション	<p>1周500mのコースを右回りに3周します。コースロープが設置されています。</p> <p>ウエットスーツ着用推奨、水温15.9度以下は着用義務。スイムチェック後はアップはできません。</p> <p>スタート③50分後(定刻スタートの場合11:20)において、スイム競技中(スイムフィニッシュの計測地点を通過して、トランジションにむかっていない)の選手は、DNF未完走とします。それ以外においても、スタッフから中止の指示がありましたら、速やかに従ってください。スイムに自信のない方は、スタート前、スイム途中においてスキップを申し出て、バイクからスタートできます。スイムスキップ希望者は、スタッフに申し出てください。コースの状況により、バイクスタートおこないます。</p> <p>スタートは、3ウエーブ。水上よりフローティングスタートとし、下流へ250m。折り返し再び、コンクリートロープを上りコースへ入ります。(ゆっくり入ってください、浅い部分もあります。)</p> <p>水深の浅い箇所があります。特にスタート付近の飛込みの際は、事前に確認ください。</p> <p>岸側には、コンクリート護岸があります。岸川5mぐらいには、近寄らないで注意ください。</p> <p>コースロープ等に伝い、または、川底を蹴って、進行するのは禁止です。</p> <p>救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。</p> <p>トランジション トランジション内は出入口が制限されており、1か所。選手以外は入れません。</p> <p>選手、バイク、ヘルメット、他について審判員のチェックを受けてください。</p> <p>トランジションにバイクをセットするのは、8:30まで。それ以降は入場できません。レースNo、ヘルメット、バイクNoシールをサドル下に貼って本人が入場。ラックにかける際、ラックのNoシールが貼ってあるほうがハンドル側になるよう、サドル掛けとします。バイクセットは、ラックのレースNo側を前にして、サドル掛けとします。</p> <p>荷物は、バイク終了後もセット時と同様に小さくまとめて他者の競技の妨げとならないよう。走路はレースNoの表示側。</p> <p>トランジションに入ると、バイクのハンドル側を走り、ヘルメットをかぶり、ストラップをしっかりと締めた後に、バイクを取り出す。バイクが終わりトランジションに入ると、先程と同じコースを走り、バイクをラックにセットした後に、ヘルメットのストラップを外してください。この時のバイクのかけ方は、ハンドルの両側またはブレーキの両側、サドル掛けのいずれか。方向は問いません。バイク、荷物はセットした時と同じように整頓して設置してください。トランジション内は乗車禁止。片足ベダル走行も禁止。</p> <p>バイク乗車は、乗車ラインを越え片足が地面にしっかりと着いた後。</p> <p>バイク降車は、降車ラインの手前で片足が地面に、しっかりと着いていること。ラインを踏むのは違反。</p> <p>トランジションエリアには選手以外入れません。レースNoをつけて入場。また、クローズ後は選手も入れません。</p> <p>荷物はレースに必要な物を最小限にまとめ【50cm立方体程度以下を推奨】使用するもの以外は禁止。</p> <p>ハンドル側に置いてください。他の選手やレースに支障をきたす場合は、注意、係員にて移動いたします。ご了承ください。カバン、袋、着てきた服等自分の荷物も禁止。</p> <p>トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。(ルールや運営上不具合の場合)場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。</p> <p>会場内、トランジション内での荷物の紛失が他会場で発生しています。貴重品の管理には注意してください。</p> <p>バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。</p> <p>ピックアップの際は必ず<b>ご本人がレースNoを持って</b>(付けて)引き取りに来てください。</p> <p>バイクに貼ってあるレースNoと本人のレースNoを照合させていただきます。</p> <p>悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。</p>

本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まりますが、遠方からのご来場者もおられるため、競技本部の配慮にて、レースの途中での引き取りを行います。  
 ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、ご声援をお願いします。  
 選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。

**ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。ご了承ください。必ず選手がレースNoを持って引取りしてください。**

- バイク** 会場内ではバイクに乗り移動の際は必ずヘルメットをしっかりとかぶり、ストラップ締めてください。右回りにて、1周5kmのコースを8周回行います。サイクルメーターの設置を推奨します。ドラフティング禁止レースです。前輪先端から後方10mをドラフとゾーンとします。追い抜きは20秒以内。バイクでの接触は、重大な事故を招きます。前方や周囲のバイクが、急に進路を変えても対応できるように、車間を十分に開け、(車間距離10～15m)不測の事態に対応できるようにしてください。前方、後方の進路を予測し、安全を確保する。先導、救護等の為、モーターバイク、車両がコース内に入ります。バイクでの事故が多く発生しており、選手や観客が大げがとなるのを予防するため、次の区間を徐行。区間とします。  
 合流、分岐、折り返し、曲線区間内とその手前100m、通過後30m。  
 バイクスタートする選手とすでにバイクを周回している選手の接触が、発生してます。  
 また、フィニッシュと周回の選手による進路変更や先行選手の減速や速度差による接触。  
 常にブレーキポジションとし、不測の事態に備えてください。  
 バイクスタート地点に於いては、周回コース上の選手を優先とします。  
 周回遅れでバイクコースに入る選手は、誘導員の指示及び前方を自分で確認し、優先権のある選手にコースを譲ってください。  
 観客等がコースを横断されたり、すぐ横で見られている場合大変危険です。特に本部付近では、前方を確認し、注意してください。これらの区間ではブレーキをすぐに掛けれる状態で走行ください。  
 大会側での車検は行いませんが、必ず、大会前にJTU規定、その他の規定に適合していることを確認し、整備、点検した後に参加ください。ヘルメット、バイクボトルも同様に規定に沿ったものを準備願います。  
 バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止といたします。
- ラン** 1周2.5kmのコースを4周します。レースNoは前面につけてください。  
 左側通行。追い抜きは一声かけて右側から。  
 エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。  
 ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ** フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。  
 総合フィニッシュは専用コースとなります。  
 同伴フィニッシュは、他の選手に配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。  
 多人数での同伴は控えてください。希望に沿えない場合もあります。  
 フィニッシュ後もレースNoゼッケンは必要です。破棄、紛失しないでください。
- ペナルティ** 競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合は  
 スタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。  
 競技規則に違反した場合には、審判員より、ストップ&ゴー、タイムの加算、注意、警告が与えられます。悪質者は、失格となります。また、違反、失格のコールに、注意、警告は必要とされません。  
 審判員の判断、他の競技者への意見、競技会場への意見は、審議委員会まで(本部に設置)。  
 詳細は、JTU競技規則を参照ください。
- お帰り** レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願、休憩は早めに、細かく取るようご配慮願います。  
 いろいろな規則や規制が設定されていますが、参加者が気持ちよく安全にレースができるように考えております。不備な点も多々あるかと思われ、参加者全員が、公平に、安全に安心して楽しくレースができますようスタッフ一同願っております。  
 コンディションにご注意願、お越しいただきますよう、お待ちしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれもご注意願います。
- ご不明な点は、事前にお問い合わせ願います。
- 事務局** 〒503-0627  
 岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731  
 木曾三川トライアスロン大会実行委員会  
 会長 若山 春夫  
 TEL 0584-54-7447  
 FAX 0584-54-5506  
<http://gifu-triathlon.jp/>  
 e-mail info@gifu-triathlon.jp